

第2期 彦根市国民健康保険データヘルス計画（保健事業実施計画） 第3期 彦根市特定健康診査等実施計画 概要版

データヘルス計画（保健事業実施計画）とは

健康・医療情報を活用して、PDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画。計画策定は市町の努力義務。

（平成26年3月「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」）

特定健康診査等実施計画とは

生活習慣病の予防に着目して実施する特定健診・特定保健指導に関して、具体的な実施方法・目標等を定める計画。厚生労働大臣の定める「特定健康診査等基本指針」に即した計画策定が市町に義務付けられている。（高齢者の医療の確保に関する法律第19条）

第1期 彦根市データヘルス計画
（策定期間：平成27～29年度）

第2期 彦根市特定健診等実施計画
（策定期間：平成25～29年度）

一体的に策定

第2期 彦根市国民健康保険データヘルス計画
第3期 彦根市特定健康診査等実施計画
（策定期間：平成30年度～平成35年度）

計画の目的

- ・生活習慣病早期発見による新規患者の抑制
- ・生活習慣病の早期治療による重症化の抑制
- ・医療費削減とともに住み慣れた地域で健やかに暮らせるまち「ひこね」を実現する

計画の構成

- 第1章 データヘルス計画（保健事業実施計画）の基本的事項
- 第2章 現状分析、彦根市が抱える健康課題
- 第3章 第1期彦根市データヘルス計画に係る評価・分析
- 第4章 彦根市の健康課題とめざす姿
- 第5章 第3期彦根市特定健康診査等実施計画
- 第6章 データヘルス計画の評価・見直し
- 第7章 データヘルス計画の推進

彦根市が抱える健康課題（主なもの）

- ・市町別標準化死亡比で心疾患（急性心筋梗塞、虚血性心疾患）が高い。
- ・要介護者の有病状況で心臓病、高血圧症の割合が高い。
- ・入院医療費のうち、狭心症の占める割合が高い。
- ・人工透析に係るレセプト件数、1人当たり医療費がともに増加傾向にある。
- ・外来医療費のうち、高血圧症および糖尿病の占める割合が高い。
- ・男女ともにLDL、e-GFR、尿酸の有所見率が高い。
- ・高血圧で治療中でありつつ、コントロール不良の人が3割以上いる。
- ・糖尿病で治療中でありつつ、コントロール不良の人が5割以上いる。
- ・週3回以上朝食を抜く人の割合が高い。
- ・特定健診の受診率が低く、県下で下位となっている。
- ・特定保健指導の実施率（終了率）が目標の60%に達していない。
- ・がんの早期発見につなげるため、がん検診受診率を一層向上させる必要がある。

医療費適正化対策

健（検）診受診率の向上

たばこ対策の強化

対策の方向性（保健事業の5本の柱）

虚血性心疾患対策・糖尿病
重症化予防の強化

健康相談・健康教室を通じた
生活習慣改善支援

目 標

市民が、自分の健康状態や生活習慣の課題に気づき、自ら健康づくりに取り組める。

【県内共通目標】

- ・特定健診受診率：60%以上 ・継続受診割合：75%以上 ・新規受診者割合：19%以上
- ・3年連続未受診者割合：40%以下 ・40歳代の健診受診率：19%以上
- ・50歳代の健診受診率：28.5%以上 ・特定保健指導実施（終了）率：60%以上

健康づくりの取り組みによって特定健診の有所見率が減少する。

- ・LDL 有所見率（男性 H27：51.6%⇒H35：48.0%）（女性 H27：62.6%⇒H35：59.0%）
- ・e-GFR 有所見率（男性 H27：19.8%⇒H35：18.0%）（女性 H27：14.7%⇒H35：13.0%）
- ・尿酸有所見率（男性 H27：17.3%⇒H35：16.0%）（女性 H27：2.3%⇒H35：1.7%）
- ・治療中かつコントロール不良者の減少（高血圧・糖尿病）

虚血性心疾患、糖尿病性腎症の発症予防、重症化予防により、健康寿命が延伸するとともに医療費が抑制される。

- ・1人当たり医療費の減少 ・新規透析患者をできる限り増やさない

中
長
期